

平成 28 年度当初予算(案)・平成 27 年度 3 月補正予算(案)
事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	浜町にぎわいづくり推進事業			継続	予 算 額	財 源 内 訳				
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略		23,750		5,600		1,000	17,150
背 景・経 緯	・H22:浜町地区活性化調査研究事業 ・H23:宮津マルシェ整備に向けた調査研究 ・H24:宮津マルシェアクションプログラム策定 道の駅機能を持たせた浜町ゾーンの具現化の検討 新浜、浜町にぎわいづくりオフサイトミーティング ・H25:観光交流センターの整備に着手、商業エリアの事業プラン構築等 ・H26:浜町立体駐車場の取得（9月～市営化） 観光交流センター整備工事の完了 ・H27:観光交流センターオープン、道の駅登録 宮津まちづくり会議報告書の提出				(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
					53,950	府	市町村未来づくり交付金			5,600
						使手	観光交流センター使用料			1,000
目 的・目 標	浜町周辺に「魅力ある集客ゾーン」を構築し、まちなかの賑わいづくりに資する。				期 待 される 効 果	・観光振興及び地域の活性化 ・まちなかの観光入込客の増(30万人アップを目標)				
事 業 概 要	■魅力ある集客ゾーンの「受け入れ基盤」運営 ○観光交流センター運営 20,750千円 丹後観光の玄関口として様々な情報を発信する観光案内所及びイベントなどが行える多目的広場や駐車場の運営経費。 ・観光案内所利用者数 8,319人（H27.7～H27.12） ・立体駐車場利用台数 120,244台（H27.4～H27.12） ■魅力ある集客ゾーンの具体化の推進 宮津まちづくり会議からの報告書（H27.11）に基づいて、関係者等との協議等を進め、地域振興拠点の早期の具体化に繋げるとともに、道の駅を含めた公共施設等の充実に向けたあり方等の検討を行う。 ※市において、浜町周辺の公共施設等の充実に向けたあり方を検討 ○地域振興拠点の運営組織構築等への支援 3,000千円 ・地域振興拠点の事業者確保に向けた協議 ・事業化に向けたたたき台づくり ・コンテンツづくり ・当面の賑わいづくりの検討 など				【みやづビジョン2011以外の計画】					
					H27 年度策定 宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略	計 画 期 間	27 ～ 31			
					年度策定					
					年度策定					
					年度策定					
					年度策定					
	【市民参加の状況】									
	【先進性】									
担当室・係	観光まちづくり推進室	まちづくり係	TEL	45-1607						

(単位:千円)

事業名	海の地域資源活用事業		新規	予 算 額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	8, 000	8, 000				0	
背景・経緯	・ H27. 10：宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定 ・ H27. 12：京都府産ナマコのブランド化準備会の開催 ・ H28. 3：京都産ナマコのブランド化推進協議会(仮称)の設立			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳					
					国	地方創生加速化交付金(3月)		8, 000		
目的・目標	『「海・里・山」の地域資源を活用した里山経済圏の形成』 ナマコ等を中心に海の資源を活用し、魅力ある新商品開発を行うとともに、水産物の生産と需要を拡大し、漁業経営の改善と地域雇用の創出につなげる。									
事業概要	■海の地域資源活用事業 8, 000千円 (H27. 3補正8, 000千円) ○ナマコの活用 ・ 資源の増殖・育成実証調査 6, 000千円 資源の生産拡大を図るため、宮津湾における増殖・育成調査(天然採苗、築磯投入、種苗放流、増殖・育成調査等)を行う。 ・ 新商品開発・販路拡大 1, 000千円 乾燥ナマコの成分検査のほか、インバウンドへの販路拡大、乾燥ナマコを活用した加工品の開発を行う。 ○丹後とり貝の活用 ・ 商品開発・販路開拓 1, 000千円 高級贈答品の開発及び観光事業者の安定利用に向けた冷凍商材の開発を行う。			期待される効果	・漁業者の所得の増加・安定化 ・加工事業者の増加による雇用の創出 ・外国人観光客をターゲットにした外貨獲得 【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 ナマコ等育成水産物出荷額H26:1,810万円→H31:3,600万円					
					【みやづビジョン2011以外の計画】					
				H27 年度策定 宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略				計画期間	27 ～ 31	
				年度策定						
				年度策定						
				年度策定						
				年度策定						
				【市民参加の状況】						
				【先進性】						
担当室・係		産業振興室 産業推進係		TEL	45-1663					

(単位:千円)

事業名	山の地域資源活用事業		継続	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	7,320		3,660			3,660
背景・経緯	・「宮津環境産業創出研究会」支援(H21～H23) ・「宮津バイオマス・エネルギー事業地域協議会」支援 (H22～H24) 宮津バイオマスエネルギー製造事業所建設(H23.8竣工)技術実証 ・竹林再生整備計画の策定 (H22～ 32自治会,173箇所,164ha)			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
				H26.3補正の繰越	府	市町村未来づくり交付金			3,660
				56,500					
目的・目標	放置竹林の整備による森林環境の改善を図るとともに、山の地域資源「竹」を有効に活用する民間事業者の内発型事業を推進する。 併せて関連企業の誘致に取り組み、地域雇用機会の創出と地域経済の活性化を図る。			期待される効果	・森林環境の改善〔竹林の再生〕 ・竹に関する情報の収集、加工技術の開発・集積と新たな産業の創出、雇用の拡大 【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 竹の一次加工品出荷額 H26:500万円→H31:3,000万円				
事業概要	■竹のカスケード利用ビジネスモデルの産業化 7,320千円 (放置竹林の整備による森林環境の改善も併せて実施) ○民間事業者による竹資源管理センターの運営 ゼロ予算 ○竹林整備隊の拡充 4,691千円 ・新規隊員の安全講習等 191千円 ・貸与機器の充実(粉碎機購入) 4,500千円 ※H27年度 地域竹林整備隊の編成(2団体、15名が登録) ○放置竹林の整備(竹の伐採) 2,629千円 ・面積A＝約2.0ha(約8,000本)				【みやづビジョン2011以外の計画】				
	＜参考＞体制イメージ 竹林整備隊 放置竹林の整備(伐採) ↓ ↓ 竹資源管理センター(民間事業者) ↓ ↓ ↓ 表皮(衛生製剤ほか)竹チップ(竹炭)原竹(扇子)			H27 年度策定	宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略	計画期間	27 ～ 31		
				H22 年度策定	竹林再生整備計画		22 ～		
				年度策定					
				年度策定					
				年度策定					
				【市民参加の状況】					
				・地権者・関係者の竹伐採への協力 ・土地の使用及び竹の無償提供 ・地権者・関係者の承諾に対する自治会の全面協力					
				【先進性】					
				・農林バイオマス3号技術による竹の液体燃料化、ガス化発電施設は国内初 ・竹林の再生とエネルギーの地産地消(消) ・改正地域再生法に基づく第一弾の地域再生計画の認定					
				担当室・係	産業振興室	産業創出係	TEL	45-1608	

(単位:千円)

事業名	北前船港町まちづくり事業			継続	予 算 額	財 源 内 訳					
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興			ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	500				500	0
背 景・経 緯	・H26.7:北前船寄港地フォーラムin宮津・天橋立 ・H27.3:北前船資料館オープン(由良地区) ・H27.5:海の京都「北前船」フォーラムin舞鶴(観光アテンダントまちなか案内人の会参画) ・H27.10～11:海の京都 特別展・シンポ「大海原に夢を求めて」(丹後郷土資料館) ・H28.1:新春講演会「北前船がもたらした経済と文化の交流」(宮津商工会議所)					(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
						1,500	繰入	まちづくり基金繰入金		500	
目 的・目 標	当地に繁栄をもたらした「北前船」を本市の観光交流の資源とし、歴史や街並みを生かしたまちなか等の観光地域づくりを促進する。					期 待 される 効 果	・北前船関連資源の観光資源化 ・住民による広域的な地域間交流 【宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 観光交流人口 H26:273万人→H31:300万人 外国人観光客宿泊数 H26:1.9万人→H31:5万人 観光消費額 H26:89億円→H31:150億円				
事 業 概 要	■北前船まちづくり委員会の運営 500千円 H26.7に本市で開催した「北前船寄港地フォーラムin宮津・天橋立」を契機に組織された、北前船に関する取組を行う団体等によるネットワーク組織「北前船まちづくり委員会」が行う各団体の連携強化・地域間交流等の活動を支援する。 (北前船まちづくり委員会構成団体及び活動)						【みやづビジョン2011以外の計画】				
						H27 年度策定 宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略				計 画 期 間	27 ～ 31
						年度策定					
						年度策定					
						年度策定					
						年度策定					
						【市民参加の状況】					
						・市民による「北前船」に関する取組が具体的に展開され始めている。 ・北前船をテーマとした近隣地域との連携が高まりつつある。					
						【先進性】					
					担当室・係	総務室 総務調整係		TEL	45-1601		

- ・宮津のまちなか観光案内
- ・由良地区の北前船資料館の活用
- ・丹後但馬の北前船フォーラム(舞鶴、但馬、久美浜、宮津の輪番)の開催
- ・全国北前船寄港地フォーラムへの参加
- ・宮津市北前船関連資料調査研究等を活用した北前船の知見の深化

府立丹後郷土資料館	宮津市自治連合協議会	宮津市文化団体協議会	丹後海陸交通(株)	WILLER TRAINS(株)
(公社)天橋立観光協会	宮津商工会議所	宮津観光アテンダント まちなか案内人の会	宮津メディアセンター 実行委員会	宮津市まち景観 形成協議会
由良自治連合会	宮津市	宮津市教育委員会		

(単位:千円)

事業名	地域農業の元気づくり ～担い手の育成・確保と農地集積の促進～ (人・農地プラン策定等事業、新規就農者育成支援事業、元気な営農推進事業)		継続	予 算 額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興		ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	7,823		7,608		50	165
背 景 ・ 経 緯	高齢化や担い手不足、耕作放棄地の増加などの課題に対応するため、地域の話し合いを通じた合意形成による人・農地プランの策定を推進するとともに、担い手の育成・確保等具体化への支援を行っている。 ・H24～国「人・農地プラン」開始 国「青年就農給付金」開始 ・H26～国「農地中間管理事業」開始 府「需要対応型特産物生産支援事業」創設(「中山間地域特産物生産応援事業」に改称)				(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
					5,306	府	農業振興事業費補助金			1,608
						府	新規就農総合支援事業補助金			6,000
						諸	農地中間管理事業委託金			50
期 待 さ れ る 効 果					・地域農業の中心となる担い手の経営基盤の安定化 ・新規青年就農者の4名の確保 ・地域営農組織における地域特産物の生産拡大 【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 新規就農者、就漁者数 H26:3人→H31:20人					
	【みやづビジョン2011以外の計画】									
事 業 概 要	■人・農地プラン策定等 400千円 ○人・農地プランの策定・見直し 350千円 地域農業のあり方や今後の地域農業の担い手について話し合い、「人・農地プラン」の策定や既存のプランの見直しを行う。 〈策定状況〉H24年度：日置(2集落) H25年度：波路(1集落)、小田宿野(1集落) H27年度：田原(1集落)、上世屋(1集落) 養老中部(5集落)、波見(4集落)の話し合いを継続 H28年度：新規プラン4集落を予定 ○農地中間管理事業に係る受託業務 50千円 農地中間管理機構の活用に係る窓口業務、農地の利用配分計画案の作成など一部業務を(公社)京都府農業総合支援センターから受託する。 ■担い手育成・確保への支援 7,423千円 ○新規就農者の育成支援 6,000千円 農業経営を開始した青年農業者(45歳未満)に対して、青年就農給付金を給付し、将来の農業経営の安定と地域への定着を支援する。 ・対象者 4名(波路2名、日置1名、上世屋1名) ・給付額 1,500千円/年(給付期間：最長5年) ○実需者との契約に基づく農業生産を継続する地域営農組織等への支援 1,423千円 ・事業主体 2地区(日ヶ谷地域会議特産研究会、杉末農家組合) ・事業内容 〈日ヶ谷〉唐辛子及びこんにゃく芋の種苗資材等の購入 713千円×補助率1/2 356千円 〈杉 末〉田植機の整備 2,184千円×補助率1/2 1,067千円				H27 年度策定	宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略	計 画 期 間	27 ～ 31		
					H24 年度策定	日置地域京力農場プラン		24 ～ 28		
					H25 年度策定	波路地域・小田宿野地域京力農場プラン		25 ～ 29		
					H27 年度策定	上世屋地域京力農場プラン		27 ～ 31		
					年度策定					
					【市民参加の状況】					
人・農地プランの策定に係る集落・地域の話し合い										
【先進性】										
担当室・係	産業振興室 農林水産係		TEL	45-1626						

平成28年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	元気な里づくり基盤整備事業			継続	予 算 額	財 源 内 訳					
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略		17,500			10,100	3,500	3,900	
背 景・経 緯	営農活動に必要な農業生産基盤（農道・農業用水路等）の改修について、地元要望が数多くあがっている。				(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳					
					11,500	市債	農業基盤整備事業債		10,100		
						分負	元気な里づくり基盤整備事業分担金		2,500		
目 的・目 標	営農活動を継続するために必要な農道、水路等の生産基盤の整備を行い、元気な里づくりを推進する。					諸	京都府土改連会員支援事業交付金		1,000		
事 業 要 概	■農業用施設等の改修 14,800千円(市単独事業) 補助事業の対象とならない各地区の地域課題を解決するため、農道、水路改修等を実施する。 ○事業地区 市内全域(宮津、上宮津、日ヶ谷地区他) ○事業内容 農道、農業用水路等の改修他 ○事業費 14,800千円(工事費：14,500千円、原材料：300千円) ※受益者分担金は、原則事業費の50%(災害関連30%等) ■「田園環境整備マスタープラン」策定 2,700千円 ○事業地区 市内全域 ○事業費 委託料 2,700千円 ※財源として、府土改連会員支援事業の活用1,000千円(事業費の5/10,上限 100万円) ※「田園環境整備マスタープラン」とは 農村地域の環境保全に関する基本計画で、環境保全の基本方針や地域の整備計画等を定めるもので、国庫補助事業（農業農村整備事業等）の新規採択には、原則、田園環境整備マスタープランが必要となる。				期待される効果	・農業生産基盤の整備による安定生産					
						【みやづビジョン2011以外の計画】					
					年度策定					計 画 期 間	
					年度策定						
					年度策定						
					年度策定						
					年度策定						
					【市民参加の状況】						
					【先進性】						
担当室・係		産業振興室 産業基盤係		TEL	45-1627						

(単位:千円)

事業名			有害鳥獣対策事業		継続	予 算 額		財 源 内 訳										
								国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源						
ビジョン基本施策			観光を基軸とした産業振興		ビジョン重点戦略	—		16,550			8,803		7,747					
背景・経緯			有害鳥獣被害により、農業者の営農意欲の低下や荒廃農地の増加等につながるものが懸念される中、総合的な被害防止対策を講じるとともに、その負担軽減が急務となっている。			(参考)前年度予算額		特 定 財 源 の 内 訳										
						14,425		府	緑の公共事業費補助金		8,074							
目的・目標			農林産物への食害、集落・住宅地等での出没による人畜への被害防止を図るため、個体数の調整、防護柵の設置、誘因残さの除去等、宮津市野生鳥獣被害対策運営協議会と連携し、地域・猟友会・行政が一体となって総合的かつ効果的な対策を講じるもの。					府	広域有害鳥獣捕獲事業委託金		195							
								府	市町村事務委任交付金		534							
事業概要			■有害鳥獣の捕獲 10,216千円 ○有害鳥獣の捕獲を(一社)京都府猟友会宮津支部猟友会に委託 ○20kg以上の大型獣は解体・焼却処分 ○緊急捕獲の推進(イノシシ・シカ(成獣)の捕獲単価 8,000円/頭) ■ニホンジカ対策の強化 1,330千円 南部地域で被害が拡大しているニホンジカの捕獲を強化 ○有害鳥獣広域捕獲の実施(与謝野町と共同) 235千円 ○シカ捕獲強化事業 546千円 狩猟期間中(11/15～3/15)の捕獲に対する報償金の支給 ○鳥獣被害対策実施隊の活動(シカ対策) 549千円 シカ対策班(16名)による銃器捕獲(巻き狩り)を実施(2回) ■ニホンザル対策の強化 2,594千円 ○個体数調整 150千円 北部地域で被害が拡大しているニホンザル(宮津A群)の捕獲を伊根町と共同で実施 ○鳥獣被害対策実施隊の活動(サル対策) 2,190千円 サル対策班(4名)によるパトロール及び捕獲等を実施 ○ニホンザル追払い活動の支援 254千円 地域の自主的な追払い活動の資材(ロケット花火など)を支援 ■その他 2,410千円 有害鳥獣捕獲檻監視装置通信料、クマ捕獲出動・資材等経費、猟銃購入・銃猟免許取得支援、防護柵の設置支援(市単独分)など ※宮津市野生鳥獣被害対策運営協議会との連携事業 捕獲器具(檻、くくりわな)、防護柵(獅子地区ほか)の整備等 12,525千円			期待される効果	集落における有害鳥獣の処理負担と農作物等被害の軽減											
						【みやづビジョン2011以外の計画】												
						H26 年度策定 宮津市鳥獣被害防止計画										計画期間	26 ～ 28	
						H27 年度策定 宮津市緊急捕獲等計画											28 ～ 30	
						年度策定												
						年度策定												
						年度策定												
						【市民参加の状況】												
						・農家による捕獲檻の餌やり、見回り、捕獲時の立会い等を実施												
						・サル出没時の住民による追い払い活動												
【先進性】																		
担当室・係		産業振興室		農林水産係		TEL		45-1626										

(単位:千円)

事業名	元気な海づくり支援事業 海の民学舎運営協議会負担金（水産事務事業）		継続	予 算 額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興		ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	1,535		692		150	693
背 景 ・ 経 緯	・漁獲量の減少や魚価の低迷などによる漁業経営の不安定を解消するため、つくり育てる漁業による生産拡大のほか、京のブランド産品「丹後とり貝」や育成岩がき、ナマコ、クロアワビなど、ブランド水産物の生産拡大が強く求められている。 ・H27年4月から京都府「海の民学舎」が開設され、若手漁業者の育成が図られている。				(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
					1,535	府	市町村未来づくり交付金			692
						使手	漁港施設占用料			150
目 的 ・ 目 標	漁業経営の安定化、多角化を推進するため、漁業者等が主体となって取り組む事業を支援し、豊かな海の恵みの活用による産業振興、地域の活性化を図る。				期 待 さ れ る 効 果	・つくり育てる漁業の推進による漁獲量の増加、経営の安定化 ・若手漁業者の育成による漁業従事者の確保や後継者不足の解消、漁村への定住 【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 ナマコ等育成水産物の出荷額 H26:1,810万円→H31:3,600万円 新規就農者、就漁者数 H26:3人→H31:20人				
事 業 概 要	■水産振興事業 1,385千円 ○事業主体 京都府漁業協同組合 ○事業内容 ・原木魚礁の沈設による漁場の整備 ・アサリの育成に適した水域への移植作業に対する助成 ・漁場の悪化を防止するため、宮津湾内のヒトデ等ゴミの除去に対する助成 ・水産資源の増大のためのサザエ、ウナギの種苗放流に対する助成 ■海の民学舎運営協議会負担金 150千円 新規漁業就業者の育成や若手・中堅漁業者の経営力の向上を図る実践型研修機関として平成27年度に開設された「海の民学舎」の運営を支援するもの。 ○運営主体 海の民学舎運営協議会（漁業団体、京都府、沿海市町で構成） ○開設場所 京都府立海洋センター内 ○内 容 〈1年目〉講義・実習による漁業の知識と技術を習得 〈2年目〉漁村に定住し、漁業現場で実地研修 ○負 担 金 150千円（沿海4市町 各150千円） 平成27年度 ・第1期生（H27～H28） 8名受講中 平成28年度 ・第1期生 2年目 漁業現場での研修 独立型漁業研修で独立自営を目指す研修生を受入れ予定 2名（小田宿野地区、大島地区） ・第2期生（H28～H29） 10名募集					【みやづビジョン2011以外の計画】				
	H27 年度策定 宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略					計 画 期 間	27 ～ 31			
	年度策定									
	年度策定									
	年度策定									
	年度策定									
	【市民参加の状況】									
	【先進性】									
	担当室・係		産業振興室 農林水産係		TEL	45-1626				

(単位:千円)

事業名	漁港整備事業		継続	予 算 額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	66, 000		44, 000	20, 000	1, 980	20	
背 景 経 緯	漁業生産活動に必要な生産基盤として、小型漁船の安全な係留場所の確保に対する強い要望がある。			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳					
				100,000	府	漁村再生交付金		44, 000		
目 的 目 標	船揚場の拡張等による小型漁船の安全な係留場所の確保と、防波堤の整備による泊地内の静穏度の向上を図り、漁業生産活動の安全を確保する。				市債	過疎対策事業債		20, 000		
					分負	漁港施設整備事業分担金		1, 980		
事業概要	■漁村再生交付金事業 66, 000千円 ・事業地区 田井（栗田）漁港 ・事業内容 防波堤の延伸・追加、船揚場の拡張 ・事業量 防波堤A L=20m、防波堤B L=15m、船揚場の一部 ・事業費 工事費 66, 000千円 ◆全体計画（H27～H29） ・事業内容 船揚場 L=30m、防波堤A L=30m、防波堤B L=15m ・事業費 工事費 103, 000千円 船揚場、防波堤A・B 測定費 27, 000千円 測量及び実施設計等業務委託 計 130, 000千円（うちH27事業費 41, 200千円）			期待される効果	・泊地内の静穏度向上 ・漁船の安全な停泊及び係留の確保					
				【みやづビジョン2011以外の計画】						
				年度策定					計画期間	
				年度策定						
				年度策定						
				年度策定						
				年度策定						
				【市民参加の状況】						
【先進性】										
担当室・係		産業振興室 産業基盤係		TEL	45-1627					



(単位:千円)

事業名	農商工観連携推進事業 ～産業が連携して6次産業化・地産地商(消)を推進～		継続	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	29,256		3,750			25,506
背 景 経 緯	・6次産業化、地産地商(消)を効果的に推進するためには、関連産業の連携が求められてきた。 ・H26.3:宮津農水商工観連携会議が発足。Made in 宮津の土産物づくり等に取り組んでいる。			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
				23,101	府	市町村未来づくり交付金		3,750	
目 的 目 標	農林水産業と商工業、観光業との連携を深め、6次産業化、地産地商(消)等をさらに推進し、地域経済力を高めるための自立循環型経済社会構造への転換を図る。								
事 業 概 要	■農水商工観連携会議の活動支援 4,500千円 商工会議所を中心に、6次産業化やものづくり等を強力に進められている「宮津農水商工観連携会議(平成26年3月設立・28団体・事務局:商工会議所内)」の取組を継続支援。 「Made in 宮津」の商品づくりを加速するため、専門家が伴走支援を行うとともに、宮津で守り伝えられている海・里・山の豊かな恵みを「宮津の宝物」として掘り起し、提供することをコンセプトに、産業間の連携を深め、付加価値の高い産品にし、外貨獲得につなげる。 〈農水商工観連携会議の活動〉 コンセプトに沿った「宮津の宝物」の掘り起し、土産物の開発や既製品のブラッシュアップ、農林水産物マッチングフェアの開催など			期待 される 効 果	・新たな特産品の開発とブランド化・高付加価値化 ・観光客をターゲットにした外貨獲得 【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 観光消費額 H26:89億円→H31:150億円				
					【みやづビジョン2011以外の計画】				
					H27 年度策定	宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略		計 画 期 間	27 ～ 31
					年度策定				
					年度策定				
	年度策定								
	■料理メニュー・特産品開発アドバイザー事業(大和学園連携事業)1,000千円 既存商品の改良や新規商品の開発の指導、アドバイスを大和学園講師が実施。 ■特産品等振興事業補助金等 2,187千円 市内農林水産物を使用した特産品や市内事業者が生産する土産物づくり、販路の拡大を支援。 ■地域おこし協力隊の活動支援及び外部専門家の招へい 21,569千円 ・地域外の人材の定住を促進し、地域活性化を図るため、6名の地域おこし協力隊の活動を支援する。(継続の3名に加え、新たにオリーブ、ホンモロコ等の振興を図る3名を追加) ・ナマコ等の生産・6次産業化などの専門的・技術的な助言を受けるため、引き続き外部専門家を招へいする。				【市民参加の状況】 農水商工観連携会議は、市内の各分野の機関・団体等に参画をいただき、具体的商品づくりなどの協議検討を進めている。				
					【先進性】				
担当室・係		産業振興室	産業推進係	TEL	45-1663				

(単位:千円)

事業名	インバウンド推進事業			継続	予 算 額	財 源 内 訳					
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興			ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	600					600
背 景・経 緯	【世界で最も美しい湾クラブ加盟に向けた取組経過】 ・H26.10 第10回総会にオブザーバー参加(韓国麗水市) ・H27. 1 加盟申請書の提出(イスタンブール開催の役員会において評価) ・H27. 3 第11回総会(H28.2 フィリピン・プエルト湾)に招待 ・H28. 2 第11回総会に出席し、京都宮津湾・伊根湾の加盟のためのプレゼンテーションの実施					(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
						1,000					
目 的・目 標	ユネスコの後援を受けている非政府組織(NGO)「世界で最も美しい湾クラブ」に宮津湾が加盟することで、世界の観光地とのネットワークを活用した外国人観光客の誘客を推進し、観光客入込客の増大及び滞在型観光への転換を図る。					期待される効果	【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 外国人観光客宿泊数 H26:1.9万人→H31:5万人				
事業概要	■世界で最も美しい湾クラブ加盟に向けた取組 600千円 ○第12回総会への出席(平成28年10月開催予定 メキシコ・プエルトヴァラルタ湾) 内 容: 宮津・天橋立等のPR(京都宮津湾・伊根湾の加盟に係る最終プレゼンテーション)及び加盟採決 加盟主体: 京都府、宮津市、伊根町の三者で加盟 湾の名称: 京都宮津湾・伊根湾 ＜参考＞世界で最も美しい湾クラブ ○会の目的 : 湾の自然環境や景観を保全しながら、世界に向けて発信していくとともに、加盟会員相互のネットワークづくりを図ることによって、観光振興や地域経済の発展に貢献する ○加盟国・湾: 日本を含む27ヵ国、38湾(日本: 松島湾、富山湾) ※平成28年2月時点 【参考】インバウンドの展開 ＜これまでの取組＞ ○受入体制の充実 ・外国人対応案内所の設置(国から外国人観光案内所カテゴリーⅡの認定) ・H26～27多言語表記の案内看板の設置(文珠・府中) ・観光事業者への英語・中国語講座の実施 ○情報発信・プロモーション ・天橋立観光協会の多言語ホームページの充実 ・インバウンド商談会への参加・ファムトリップの受入れ ＜今後の取組予定＞ ○受入体制の充実(例: Wi-Fi整備、免税店の拡充、外国人対応のガイド育成) ○旅行商品づくり等(例: 外国人向け旅行商品の造成(湾クラブとの連携等)、交通機関と連携した誘客推進) ○情報発信・プロモーション(例: 外国人観光の人気サイトへの掲載)						【みやづビジョン2011以外の計画】				
	H27 年度策定 宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略				計画期間	27 ～ 31					
	年度策定										
	年度策定										
	年度策定										
	年度策定										
	【市民参加の状況】										
	・天橋立清掃 ・世界遺産登録に向けた取組										
	【先進性】										
	平成28年度に湾クラブへの加盟が認められれば、日本で3番目の加盟となる。										
担当室・係	観光まちづくり推進室			観光推進係	TEL	45-1625					

(単位:千円)

事業名	宮津天橋立周遊“海のみやこの物語”推進事業		継続	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	17,000		6,565		7,298	3,137
背 景・経 緯	・ゴールデンウィークや盆、3連休等の一部において、文珠、府中地区へ向かう車で渋滞が発生している。 ・京都縦貫自動車道の全線開通し、交通量が増加 ・平成27年度 観光交流センター開設、道の駅登録 ・平成27年度 海の京都博を開催(7/18～11/15) コアイベント:天橋立砂浜ライトアップ、天橋立パーク&クルーズの実施 参画イベント:天橋立まち灯りぶらり散策、成相寺紅葉ライトアップ(地元主体で実施)			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
				21,000	府	市町村未来づくり交付金			6,565
					繰入	観光振興基金繰入金			5,750
					諸	観光地域ブランド確立支援事業費補助金			1,548
目 的・目 標	平成27年7月に京都縦貫自動車道の全線開通及び海の京都博の開催を契機に実施した海を活用した周遊ルートの定着や更なる夜の賑わいの創出による誘客を推進し、観光入込客の増加及び周遊型・滞在型観光への転換を図る。			期 待 される 効 果	【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 観光交流人口 H26:273万人→H31:300万人 観光消費額 H26: 89億円→H31:150億円 外国人観光客宿泊数 H26:1.9万人→H31: 5万人				
事 業 概 要	■海を活用した宮津天橋立周遊の実施 8,000千円 丹後観光のゲートウェイとしての浜町を起点とした周遊ルートを定着させ、渋滞緩和と海上交通を活用する新たな観光コースの構築により、周遊型旅行商品の造成・販売促進を図る。 [取組内容] ○ゴールデンウィーク等の渋滞が予想される日における渋滞緩和 ○海上交通を活用する旅行商品の造成・販売 ○海上交通の定着を図るためのプロモーション活動 ※天橋立観光協会(地域本部)を中心に、地元・行政・交通事業者等と共同で実施。 [実施予定期間] 4月29日～5月8日、平成29年1月1日～3日及び7月16日～10月30日の期間の土日祝(盆含む)				【みやづビジョン2011以外の計画】				
	H27 年度策定 宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略			計 画 期 間	27 ～ 31				
					年度策定				
					年度策定				
					年度策定				
					年度策定				
	■夜の賑わいの創出 9,000千円 海の京都博のコアイベントとして実施した天橋立まち灯り(天橋立砂浜ライトアップ)について、砂浜、松林のライトアップの増設等充実を図り、更なる夜の賑わいを創出し、滞在型観光につなげる取組を支援する。 [取組内容] ○天橋立砂浜ライトアップ ○松林ライトアップ など ※別途、地元が「天橋立まち灯りぶらり散策」、交通事業者がナイトクルーズを実施予定 [実施期間]平成28年7月16日～8月31日 19時から22時まで(予定) [実施主体]「海の京都」天橋立地区協議会 <H27入込客数> 天橋立砂浜ライトアップ:約20,000人 天橋立まち灯りぶらり散策:約5,300人 ナイトクルーズ 約600人			【市民参加の状況】 地域住民、観光、商工関係者と協議、協力しながら渋滞緩和の取組と賑わいづくりを実施					
	【先進性】								
	担当室・係	観光まちづくり推進室	観光推進係	TEL	45-1625				

(単位:千円)

事業名	観光まちづくり推進事業		継続	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略	53,854	46,948				6,906
背 景・経 緯	・H26. 4 誘客を推進する天橋立ツアーセンターを天橋立観光協会内に設置 ・H26. 7 舞鶴若狭自動車道の全線開通、海の京都観光圏の認定 ・H27. 7 京都縦貫自動車道の全線開通、海の京都博の開催（11月まで） ・H27.11 宮津市観光推進会議設立総会の開催 ・H27.12 Wi-Fiパケットセンサーによる観光流動調査の実施			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
				12,750	国	地方創生加速化交付金(3月)		46,948	
目 的・目 標	誘客や観光まちづくり等を強力に推進する組織を構築することにより、ブランド観光圏の実現及びその中心として日本の顔となる観光地を目指し、観光入込客の増大、観光消費額の拡大、市域全体の産業振興及び地域の活性化を図る。			期 待 される 効 果	【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 観光交流人口 H26:273万人→H31:300万人 観光消費額 H26: 89億円→H31:150億円 外国人観光客宿泊数 H26:1.9万人→H31: 5万人				
事 業 概 要	■海の京都DMOの設立・運営に係る負担金 27,859千円(H28当初予算6,906千円 H27.3月補正20,953千円)				【みやびビジョン2011以外の計画】				
	海の京都観光推進協議会北部事務局、各観光協会、京都府、7市町で設立を目指す、ヘッドクォーターの機能を有する強固な連携組織【海の京都DMO】(一般社団法人海の京都振興会社(仮称))に対する負担金 ○体制及び役割 ヘッドクォーター(統合企画局)機能を担う本部と各観光協会を母体とする地域本部で体制を構築<本部> 観光圏全体でのサービス水準・顧客満足度の向上等ブランド観光圏の実現に向けて、観光圏全体の総合的なマネジメント、広域の着地型旅行商品の造成・販売、広域観光プロモーション等を行う。 <地域本部> 海の京都全域の観光案内、各市町の観光地域づくり及び、これまでから観光協会が実施している事業（着地型旅行商品、個別プロモーション、イベント等）を行う。 ■地域本部（仮称）の設立・運営 25,995千円(H27.3月補正) 海の京都観光圏の中心として、マーケティングの実施、マーケティングに基づく旅行商品の造成、販売、観光まちづくりを強力に推進する地域本部の設立・運営を支援する。 ○体制：宮津・伊根・与謝野エリアで一つの地域本部の設立を目指す。 従来の事業を行うセクションに加え、民間の専門人材も入れ、マーケティングの実施やそれに基づくニーズの高い旅行商品の造成・販売等を行うセクションを設置(ツアーセンターを再編)				H27 年度策定	宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略	計 画 期 間	27 ～ 31	
					年度策定				
				年度策定					
				年度策定					
				年度策定					
【市民参加の状況】									
・宮津市観光推進会議への参画 ・海の京都天橋立地区協議会での地域づくりの実践									
【先進性】									
京都府、7市町、観光協会等が連携して国が提唱する日本版DMOの設立を目指す									
担当室・係	観光まちづくり推進室	観光推進係	TEL	45-1625					

(単位:千円)

事業名	みやづ環の地域づくり推進事業			継続	予 算 額	財 源 内 訳				
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン基本施策	環境保全と生活環境の向上	ビジョン重点戦略	—		500				500	0
背 景・経 緯	地球温暖化対策の推進に関する法律において、地方公共団体は温室効果ガス排出抑制のための総合的かつ計画的な施策を策定し、実施に努めることとされている。 ・第2期宮津市地球温暖化防止計画「みやづ環の地域づくり行動計画」(H25～H32) ・H25.8.8 第2期宮津市地球温暖化防止計画推進組織「みやづ環の地域づくり推進ネットワーク」設立				(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
					1,300	繰入	自然環境保全基金繰入金			500
目 的・目 標	第2期宮津市地球温暖化防止計画「みやづ環の地域づくり行動計画」に基づき、市民協働による環境面からの「住んでよし」のまち・宮津の実現に向け、化石資源に頼らない魅力的なまちづくりを推進し、地球温暖化防止に資するもの。 ※H32年度CO ₂ 排出量→25%削減(H2年度比)				期 待 される 効 果	・エネルギーの地産地消による足腰の強い社会の形成 ・地域の中で生み出されたものを地域内で循環活用する、人も自然も一つの環でつながった心の豊かさが感じられる暮らしの実現 ・社会的な責任(行動)を一人一人が担う地域社会の創出 ・小さな経済を回し地域活性化に寄与				
事 業 要 概	■みやづ環の地域づくり推進事業補助金 500千円 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく本市の地球温暖化対策地域協議会として位置付けた「みやづ環の地域づくり推進ネットワーク」の活動を支援 [主な活動内容] ○循環型のエネルギー(太陽光、太陽熱、小水力、風力、バイオマス)を市内でどう使っていくかについての調査研究活動を行い普及につなげる。 ○‘ピンと生き生き宮津ライフ’※をモットーに環境と健康にやさしい宮津らしいライフスタイルを提案するほか環境啓発事業などを実施し、市民一人一人が自ら環境に配慮した行動をするきっかけづくりを提供する。 ○みやづ環の地域づくり行動計画の実現に向け、市民、地域活動団体、事業者及び行政が一体となって取り組み、個々の取組から面的な取組となるよう交流や情報交換を行う場を創出する。 ※ピンと生き生き宮津ライフ…健康長寿を意味する「ピンピンコロリ運動」と宮津節をかけた、環境にやさしく健康で明るい元気な暮らし方				【みやづビジョン2011以外の計画】					
					H24 年度策定 みやづ環の地域づくり行動計画				計 画 期 間	25 ～ 32
					年度策定					
					年度策定					
					年度策定					
					年度策定					
	【市民参加の状況】									
	・みやづ環の地域づくり推進ネットワークへの参加(H25～) 会員数:38会員(個人:22人、事業者・団体:16組織)									
	【先進性】									
	・第2期計画は、府下では京都市、八幡市に次いで3市町目(小規模市町村では努力規定(温対法第20条の3))									
	担当室・係		自立循環型経済社会推進室 環境政策係		TEL	45-1609				

(単位:千円)

事業名	世界遺産登録推進事業			継続	予 算 額		財 源 内 訳						
							国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源		
ビジョン基本施策	環境保全と生活環境の向上			ビジョン重点戦略	—			1,720					1,720
背 景・経 緯	H19.6 天橋立世界遺産登録可能性検討委員会設置(府共同) 9 文化庁に暫定リスト登録を申請(府・2町共同) 12市民主体の活動組織「天橋立を世界遺産にする会」設立 H20.9 文化庁、暫定リストの審査結果発表。 → 天橋立は選から漏れるも、次点となる「1a」の評価 H21～H23は国際シンポジウム、専門家会議等を開催 H24～「天橋立を世界遺産にする会」会員1万人運動を開始 H24.11世界遺産条約40周年記念会合 H25 世界遺産暫定一覧表記載資産候補提案書再作成 H26.7 再作成した提案書により、文化庁へ要望				(参考)前年度予算額		特 定 財 源 の 内 訳						
					1,720								
	期 待 される 効 果		・天橋立に対する市民の誇りの高まりと天橋立の将来への保全。 ・天橋立の価値の国内外への幅広い情報発信 【宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 観光交流人口 H26:273万人→H31:300万人 外国人観光客宿泊数 H26:1.9万人→H31:5万人 観光消費額 H26:89億円→H31:150億円										
目 的・目 標	「海の京都観光圏」の中核となる日本三景「天橋立」を、市民が誇りを持ち、さらにその価値を高め世界へ発信する。												
事 業 概 要	国内外に天橋立を発信し国際的評価・知名度を高めるとともに、文化庁の暫定一覧表記載募集開始に即応できるよう、調査研究を引き続き進める。 ■京都府・1市2町共同の取組 1,202千円 ※共通事業費 3,700千円(京都府負担2,000千円、1市2町負担1,700千円) 国際的評価・知名度を高めるとともに、暫定リスト入りに向けた新提案書のコンセプトに基づき、天橋立の調査研究事業を実施する。 ①PR事業 ・これまでの調査研究結果をまとめた報告書の発刊 ②天橋立世界遺産登録可能性検討委員会(座長:金田章裕京都大学名誉教授)の運営 ③住民気運の醸成 ・天橋立の世界遺産登録に向けたシンポジウムの開催 ■天橋立を世界遺産にする会補助金 495千円 「天橋立を世界遺産にする会」が実施する啓発事業等を支援する。 ※天橋立を世界遺産にする会 ・会長 今井一雄(宮津商工会議所会頭) ・会員 団体会員24団体／個人会員6,586人(H28.2現在) ・会予算 1,200千円(予定)				【みやづビジョン2011以外の計画】								
					H27 年度策定 宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略							計 画 期 間	27 ～ 31
					年度策定								
					年度策定								
					年度策定								
	年度策定												
	【市民参加の状況】												
	・ミニフォーラム「雪舟筆・国宝「天橋立図」と“海の京都”」への後援(天橋立府中観光会主催)110名 ・H27.10.18「天橋立わくわくキッズガイド」(JC共催)小学生17名(宮津市・与謝野町)												
	【先進性】												
担当室・係		総務室 総務調整係					TEL	45-1601					

(単位:千円)

事業名	宮津与謝環境組合分担金			継続	予 算 額	財 源 内 訳					
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上			ビジョン 重点戦略	—	223, 588			205, 500		18, 088
背 景 ・ 経 緯	・ H4竣工の現宮津市清掃工場は老朽化が懸念されるとともに、H19. 3に地元との設置期限が終了後、毎年延長を依頼し、同意を得て運転している。 ・ H25 1 市 2 町による宮津与謝環境組合設立 ・ H27 ごみ処理施設建設に係る地元同意 ・ H27～ DBO方式による事業者選定中					(参考) 前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
						17,708	市債	過疎対策事業債			205, 500
目 的 ・ 目 標	宮津市、伊根町及び与謝野町で組織する「宮津与謝環境組合」において、新たな広域ごみ処理施設を整備することにより、一般廃棄物の安定処理を図るとともに、本市の循環型社会の形成に寄与する。					期 待 される 効 果					
事 業 概 要	新たな広域ごみ処理施設の整備・運営主体である宮津与謝環境組合の運営費及び事業費に対し、組合規約に基づく負担割合に応じた本市の分担金を拠出する。										
	■ 宮津与謝環境組合：平成25年4月1日設立（与謝野町岩滝庁舎内に事務所設置）										
	■ 広域ごみ処理施設整備予定地：宮津市字須津（大谷地区）（一部与謝野町石川地区）										
	■ 主な事業内容 ・ 敷地造成工事（H27～H28） ・ 施設建設工事（H28～H31）										
	■ 分担金内訳（人口割） 計 513, 485千円 ・ 宮津市 （43. 543177％） 223, 588千円（内、205, 513千円が普通建設事業費相当分） ・ 伊根町 （ 5. 260630％） 27, 012千円 ・ 与謝野町（51. 196193％） 262, 885千円										
■ 平成28年度宮津与謝環境組合予算（案）					期 待 される 効 果	【みやづビジョン2011以外の計画】					
項目 金額（千円）											
歳入	関係市町分担金	513,485	歳出	議会費							176
	国庫支出金	155,945		総務費（一般管理費等）							42,056
	繰越金	1,000		衛生費（施設管理費）							627,205
	諸収入	7		予備費	1,000						
計 670,437					計 670,437						
※ 環境組合予算において、施設整備及び運営にかかる債務負担（H28～H50）を設定予定											
担当室・係						市民室 生活衛生係			TEL	45-1617	

※ 環境組合予算において、施設整備及び運営にかかる債務負担（H28～H50）を設定予定

(単位:千円)

事業名	景観まちづくり推進事業			継続	予 算 額	財 源 内 訳					
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン基本施策	環境保全と生活環境の向上			ビジョン重点戦略	—	43,770	21,650		9,700		12,420
背 景・経 緯	・H20.11 天橋立周辺地域景観計画施行 ・H24.3 宮津市景観まちづくり提言書の提出 ・H26.4 宮津市景観条例及び宮津・天橋立景観計画施行 ・H26.8 文珠ノット締結(界限景観まちづくり協定第1号) ・H27.8 大垣界限景観まちづくり協定締結(Ⅱ第2号) ・H21.6 宮津市まち景観形成協議会設立 ・H25.8 景観まちづくりマスタープランの策定					(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
						49,250	国	街なみ環境事業費補助金			21,650
							市債	街なみ環境整備事業債			2,200
							市債	過疎対策事業債			7,500
目 的・目 標	天橋立をはじめとする宮津市特有の美しい自然と悠久の歴史に育まれた景観を守り育て後世に伝えていくとともに、個性的で魅力あるまちづくりを促進するため、行政・市民・事業者が協力して街なみ整備を進めるもの。					期 待 される 効 果	魅力ある街なみ景観を形成することにより、日本の顔となる観光地づくり及び居住空間としての快適さの向上を図ることができる。				
事 業 概 要	■街なみ環境整備事業 43,300千円 ○街なみ整備事業 20,000千円 海の京都観光圏の形成に向け、その中心となる府中、文珠の両地区において道路の美装化を行い、景観に配慮した街なみ整備を図る。 〔道路美装化路線〕 ・市道文珠山手線 (L=85m) ・市道文珠波止場線 (L=51m) ・市道溝尻海岸線 (L=75m) ・市道中野東浜線 (L=39m) ○景観まちづくり事業補助金 22,800千円 住民主導による街なみ修景を進めるため、界限景観まちづくり協定に基づく修景の取組み等に対し支援を行う。 ・景観形成活動助成事業 (300千円) ・街なみ修景助成事業 (15件、22,500千円) (建物等修景) ○宮津市まち景観形成協議会活動助成 500千円 良好な景観形成への取組みをさらに進めるため、地域の景観まちづくり協定の策定などの景観まちづくり活動を支援する。										
	■宮津市景観審議会の運営 470千円 市景観審議会において市の景観まちづくりの方向性や景観計画の運用等について審議を行うとともに、同審議会の景観デザイン委員会において、景観まちづくりに係るデザイン面での助言等を行う。										
	【みやづビジョン2011以外の計画】										
	H27 年度策定	宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略			計 画 期 間	27 ~ 31					
	H27 年度策定	社会資本総合整備計画				28 ~ 32					
	H25 年度策定	景観まちづくりマスタープラン及び宮津・天橋立景観計画									
	H22 年度策定	文珠地区・新浜、魚屋地区まちづくり計画									
	H24 年度策定	西部地区・府中地区景観まちづくり計画									
【市民参加の状況】											
【界限景観まちづくり協定の締結】 ・文珠地区(文珠町づくり委員会) ・府中地区(大垣自治会界限景観特別委員会) 【宮津市まち景観形成協議会への参画】 ・文珠町づくり委員会 ・西部地区地域会議 ・宮津まちづくり研究会 ・宮津中部地区自治連合協議会 ・府中をよくする地域会議 ・東部地区 ・上宮津地区 ・橋北地区											
【先進性】											
担当室・係	建設室 まち景観係				TEL	45-1630					

(単位:千円)

事業名	重要文化的景観保護推進事業			継続	予 算 額	財 源 内 訳									
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源					
ビジョン基本施策	環境保全と生活環境の向上	ビジョン重点戦略	—		46,930	23,465			22,465	1,000					
背 景・経 緯	天橋立世界遺産登録運動の取組や「宮津・天橋立景観計画」が推進されている中、平成20年度に文化庁の調査において「宮津市街地・天橋立周辺」が「重要地域」として選択された。これを受けて、府中・文珠・宮津地区の文化的景観の保全・活用を図るための取組を進め、平成26年3月に府中・天橋立地区が、平成27年1月に文珠地区が国の重要文化的景観の選定を受けた。				(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳									
					69,000	国	国宝重要文化財等保存整備費補助金			23,465					
						分負	重要文化的景観整備事業分担金			22,465					
目 的・目 標	官民一体で魅力ある地域づくりを進めるため、宮津市域の文化的景観の保護と活用を図る。				期 待 される 効 果	・ 地域の文化的景観の保護・継承 ・ 地域の景観・遺産の価値付けによる郷土愛の醸成 ・ 地域の歴史・文化を活かしたまちづくりの推進 ・ 文化的景観を軸にした文化観光の新施策の展開 ・ 天橋立の世界遺産登録に向けた地域の文化資産の拡充									
事 業 概 要	■文化的景観保護推進事業の取組 事業費 2,000千円 ○文化的景観検討委員会の開催（2回） 重要な構成要素物件の整備の方向性及び内容の協議を行うとともに、宮津地区における候補案件の価値付け、調査・保存の方向性等を協議 ○保存計画の策定 宮津地区の選定申出に向け、景観形成基準や重要な構成要素を協議するとともに、保存管理、整備活用方針を示した保存計画を作成する。 ○普及啓発活動 宮津地区を中心に地域説明会・まちづくりフォーラム等を開催し、住民の文化的景観への理解と気運醸成を図る。 ○整備計画策定及び基礎調査の実施 重要な構成要素物件に係る整備計画の策定及び建物履歴調査等基礎調査の実施 ■重要な構成要素物件の修理修景事業（設計・整備） 事業費 44,930千円 ○慈光寺（府中）：屋根及び外壁の改修 ○丹海傘松ケーブル：府中駅舎の改修 ○神風楼：修景に係る実施設計 ※市の直接事業として実施 国庫補助金1/2、受益者分担金1/2					【みやづビジョン2011以外の計画】									
						年度策定			計 画 期 間						
						年度策定									
						年度策定									
						年度策定									
						年度策定									
						【市民参加の状況】									
						・ 文化的景観フォーラム「文珠の文化的景観」 H25. 8. 29、30人参加 ・ 景観選定記念フォーラム「府中の文化的景観とまちづくり」H26. 3. 7、60人参加 ・ 地域説明会（H24. 6～府中地区21回、文珠地区7回、延べ約350名参加） ・ 語り部講座（府中：H25. 6～ 11回。文珠：H26. 10～7回、延べ約600名参加）									
						【先進性】									
						・重要文化的景観の選定は、全国で50件（H27年10月現在）。京都府下では宇治市に次いで2件目。									
						担当室・係	教育委員会事務局総括室 社会教育係			TEL	45-1642				

(単位:千円)

事業名	公共下水道施設整備事業		継続	予 算 額	財 源 内 訳																									
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源																					
ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上	ビジョン 重点戦略	—	487,897	191,000		296,800	97	0																					
背 景 ・ 経 緯	本市の下水道は、「宮津湾流域関連公共下水道」として昭和59年度から事業着手し、平成5年に一部地域を供用開始して以降、年々その区域を拡大し、現在に至っている			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳																									
				425,307	国	社会資本整備総合交付金			191,000																					
					市債	公共下水道債 ほか			296,800																					
					その他	下水道使用料			97																					
目 的 ・ 目 標	公共下水道施設の整備により、公共用水域の保全と生活環境の向上を図る。 (平成30年度の施設概成予定)																													
事 業 概 要	■公共下水道施設整備事業 487,897千円 ○主な事業内容 ・管渠整備工事（喜多、江尻） 396,500千円（舗装含む） ・実施設計等業務委託（難波野、江尻） 53,000千円 ・高齢者世帯排水設備整備費補助 2,000千円 （65歳以上のみの世帯に対し最大100千円を補助） ・その他（補償工事、事務費等） 36,397千円 ○整備見込 ・計画面積：502.7ha（計画全体） ・整備面積： 14.6ha（整備済み面積 H27末：431.3ha⇒H28末：445.9ha） ・整備率 ： 88.7％（H27末：85.8％） ○近年の整備実績 <table><tr><th></th><th>H23 決算</th><th>H24 決算</th><th>H25 決算</th><th>H26 決算</th><th>H27 予算</th><th>H28 予算</th></tr><tr><td>整備面積 (ha)</td><td>10.9</td><td>8.3</td><td>10.3</td><td>4.4</td><td>15.3 (20.2)</td><td>14.6</td></tr><tr><td>事業費 (千円)</td><td>285</td><td>311</td><td>394</td><td>294</td><td>425 (733)</td><td>488</td></tr></table> ※H27＝上段：予算ベース 下段：H26からの繰越含む				H23 決算	H24 決算	H25 決算	H26 決算	H27 予算	H28 予算	整備面積 (ha)	10.9	8.3	10.3	4.4	15.3 (20.2)	14.6	事業費 (千円)	285	311	394	294	425 (733)	488	期待 される 効 果	公共用水域の保全と生活環境の向上が図られる。				
					H23 決算	H24 決算	H25 決算	H26 決算	H27 予算	H28 予算																				
				整備面積 (ha)	10.9	8.3	10.3	4.4	15.3 (20.2)	14.6																				
				事業費 (千円)	285	311	394	294	425 (733)	488																				
				【みやづビジョン2011以外の計画】																										
				H20 年度策定 宮津市水洗化計画				計 画 期 間	21 ～ 30																					
				H27 年度策定 京都府宮津湾流域関連宮津市公共下水道計画					28 ～ 33																					
				年度策定																										
				年度策定																										
				年度策定																										
				【市民参加の状況】																										
				【先進性】																										

(単位:千円)

事業名			安心・安全な水の安定供給（水道施設整備事業）		継続		予 算 額		財 源 内 訳																																																							
ビジョン基本施策			環境保全と生活環境の向上		ビジョン重点戦略		—		669,891		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源																																																	
背景・経緯			[水道事業の浄水場改修] 現在の8浄水場を5浄水場に集約するため、計画的に更新・整備を進めている。 [簡易水道施設の統合整備] 平成28年度の水道事業との経営統合を見据え、老朽化が進む小規模施設の統合整備を計画的に進めている。 [老朽石綿管の布設替] 強度の面で問題のある老朽石綿管が市内各所に残っており、計画的に布設替を進めている。						(参考)前年度予算額		特 定 財 源 の 内 訳																																																					
目 的・目 標			将来にわたる「安心・安全な水」の安定供給を図るため、規模が小さく老朽化が進む簡易水道の統合整備、石綿管布設替の計画的実施及びろ過設備の設置を行う。						465,681		国	簡易水道施設整備費補助金			140,264																																																	
											市債	水道事業債			118,000																																																	
											市債	簡易水道事業債 ほか			398,400																																																	
											その他	内部留保資金等			13,227																																																	
事業概要			■養老・日ヶ谷簡易水道統合整備事業（継続） 430,191千円 ・ 事業内容：養老（波見谷除く）及び日ヶ谷簡易水道の統合 ・ 事業期間：平成25年度～平成28年度 ・ 総事業費：999百万円 (千円) <table><tr><th colspan="2"></th><th>H25（決算）</th><th>H26（決算）</th><th>H27（決算見込）</th><th>H28（予算）</th></tr><tr><td rowspan="2">主 な 内 容</td><td>測量調査 土質調査 詳細設計</td><td>浄水機械製作 配水池製作 配水管布設</td><td>敷地造成 浄水施設 配水施設 送水施設 場内整備</td><td>管理棟建築 取水施設 電気計装 配水施設 送水施設</td></tr><tr><td>金 額</td><td>3,987</td><td>362,985</td><td>201,836</td><td>430,191</td></tr></table> ■石綿管布設替（継続） 208,700千円（舗装含む） (km、千円) <table><tr><th colspan="2"></th><th>H26（決算）</th><th>H27（予算）</th><th>H27末 残延長</th><th>H28（予算）</th><th>H29以降</th></tr><tr><td rowspan="2">水道</td><td>布設替延長</td><td>0.85</td><td>1.61</td><td>2.86</td><td>0.81</td><td>2.05</td></tr><tr><td>金額</td><td>64,408</td><td>131,200</td><td></td><td>131,200</td><td>149,180</td></tr><tr><td rowspan="2">簡易 水道</td><td>布設替延長</td><td>0.59</td><td>0.40</td><td>1.49</td><td>1.16</td><td>0.33</td></tr><tr><td>金額</td><td>34,550</td><td>26,000</td><td></td><td>77,500</td><td>16,585</td></tr></table> ■ろ過設備設置（新規） 31,000千円 ・ 岩戸飲用水供給施設：上向性ろ過機設置 1 式 17,800千円 ・ 辛皮飲用水供給施設：急速ろ過機設置 1 式 13,200千円								H25（決算）	H26（決算）	H27（決算見込）	H28（予算）	主 な 内 容	測量調査 土質調査 詳細設計	浄水機械製作 配水池製作 配水管布設	敷地造成 浄水施設 配水施設 送水施設 場内整備	管理棟建築 取水施設 電気計装 配水施設 送水施設	金 額	3,987	362,985	201,836	430,191			H26（決算）	H27（予算）	H27末 残延長	H28（予算）	H29以降	水道	布設替延長	0.85	1.61	2.86	0.81	2.05	金額	64,408	131,200		131,200	149,180	簡易 水道	布設替延長	0.59	0.40	1.49	1.16	0.33	金額	34,550	26,000		77,500	16,585	期待される効果		将来にわたる安定給水の確保と、効率的かつ経済的な施設管理が可能になる。				
											H25（決算）	H26（決算）	H27（決算見込）	H28（予算）																																																		
									主 な 内 容	測量調査 土質調査 詳細設計	浄水機械製作 配水池製作 配水管布設	敷地造成 浄水施設 配水施設 送水施設 場内整備	管理棟建築 取水施設 電気計装 配水施設 送水施設																																																			
										金 額	3,987	362,985	201,836	430,191																																																		
											H26（決算）	H27（予算）	H27末 残延長	H28（予算）	H29以降																																																	
									水道	布設替延長	0.85	1.61	2.86	0.81	2.05																																																	
										金額	64,408	131,200		131,200	149,180																																																	
									簡易 水道	布設替延長	0.59	0.40	1.49	1.16	0.33																																																	
										金額	34,550	26,000		77,500	16,585																																																	
									【みやづビジョン2011以外の計画】																																																							
年度策定												計画期間																																																				
年度策定																																																																
年度策定																																																																
年度策定																																																																
年度策定																																																																
【市民参加の状況】																																																																
【先進性】																																																																
担当室・係		建設室 水道整備係										TEL	45-1634																																																			

(単位:千円)

事業名	男女共同参画・女性活躍推進計画の策定(男女共同参画推進事業)		新規	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	健康増進と福祉の推進	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略	750					750
背 景 ・ 経 緯	H11 :男女共同参画社会基本法の公布・施行 H14 :宮津市男女共同参画基本計画-新ウインドプラン21- 策定 (平成23年度で期間満了) H27 :女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)公布、一部施行 H28.3:女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画の策定			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
目 的 ・ 目 標	男女の人権が尊重されるとともに、社会経済情勢の変化に対応できる豊かで活力ある社会、働きながら子育てしやすい社会の実現を目指し、男女共同参画等の施策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的な計画を策定する。			期 待 される 効 果	男女が共に助け合い互いの能力や個性を認め合うことで 仕事、生活のあらゆる分野でいきいきと活躍でき、仕事と生活の調和のとれる社会の実現 【宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 子育て応援企業の認定数 H26:なし→H31:10社 ワーク・ライフ・バランス推進宣言企業 H26:27社→H31:60社				
事 業 概 要	■ 宮津市男女共同参画・女性活躍推進計画の策定				【みやづビジョン2011以外の計画】				
	計画の名称	「宮津市男女共同参画・女性活躍推進計画(仮称)」			H27 年度策定 宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略			計 画 期 間	27 ~ 31
	計画の期間	平成29年4月から平成39年3月まで(10年間)			年度策定				
	計画の概要	「男女共同参画社会基本法」及び「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)」に基づき、男女共同参画社会の形成の促進に関する施策の基本的事項と女性の職業生活における活躍の推進に関する施策について、京都府計画等を勘案し一体型の計画として定める。		年度策定					
				年度策定					
				年度策定					
				年度策定					
	策定の体制	○「宮津市男女共同参画・女性活躍推進計画策定委員会」の設置(要綱設置) ・計画の策定にあたり調査及び検討を行い原案を市に答申 ・委員12名程度(市内女性団体、関係団体、高校生、学識経験者(大学教授)等を委嘱) ○答申原案をパブコメ実施、市長決定		【市民参加の状況】					
	基礎資料収集	市民意識調査の実施 ・16歳以上の市民 2,000人を対象(予定)		計画策定にあたって、市民意識調査、パブリックコメントを実施する予定。					
				【先進性】					
				担当室・係	総務室 人権啓発係		TEL	45-1615	

(単位:千円)

事業名	姉妹友好都市交流事業		継続	予 算 額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン重点戦略	—	7,700		2,055		2,280	3,365	
背 景 ・ 経 緯	・ 財政再建のため休止していた高校生の姉妹都市派遣をH24に9年ぶりに再開。以来、アメリカとニュージーランドに交互に派遣している。（H26は60周年で市長等誘致したため休止） ・ 各姉妹都市からの青少年訪問団の受入（H16年以降） ネルソン市（H17, H19, H21） 秦皇島市（H19） デルレイビーチ市（H17, H19, H22, H24, H26）			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳					
				2,980	府	市町村未来づくり交付金		2,055		
					繰入	人材育成基金繰入金		2,280		
目 的 ・ 目 標	姉妹都市との交流事業を通じて、友好関係を深める。特に、次代を担う青少年の外国人とのふれあいや、異文化の相互理解を通じて、国際感覚豊かな人材の育成に資する。									
事 業 概 要	【姉妹都市からの来訪団の受入れ】 ■アメリカ・デルレイビーチ市来訪団の受入れ（6月） ○来訪団：11人 ○来訪日程：7日間 ■ニュージーランド・ネルソン市来訪団（合唱団）の受入れ（10月） ○来訪団：60人 ○来訪日程：7日間 宮津市内でのコンサート開催、市民交流、市内観光等ほかに、箕面市、京都市でもでもコンサートを開催予定。 【姉妹都市への訪問団の派遣】 ■ニュージーランド・ネルソン市訪問団の派遣 ○ニュージーランド姉妹都市協会創立35周年記念事業出席 ・派遣人数：5人（市長、国際交流協会ほか） ・派遣日程：5日間（4月） ○高校生訪問団の派遣 ホームステイ、現地学校への体験入学などで交流を深めるとともに、異文化の相互理解による青少年の人材育成を図る。 ・派遣人数：高校生10人、引率者 ・派遣日程：10日間（7月） ※高校生に補助金交付（旅費の6割・上限18万円） ○市民訪問団の派遣 ・派遣人数：市民8人、市職員 ・派遣日程：6日間（11月） ※市民に補助金交付（旅費の2割・上限6万円） 【参考：宮津市の姉妹友好都市】 ・ネルソン市（ニュージーランド） 昭和51年提携 ・デルレイビーチ市（アメリカ） 昭和52年提携 ・秦皇島市（中国） 昭和62年提携			期 待 さ れ る 効 果	・国際的な視野を持った青少年の育成につながる。 ・姉妹都市とさらなる友好関係が深まる。					
					【みやづビジョン2011以外の計画】					
				年度策定				計 画 期 間		
				年度策定						
				年度策定						
				年度策定						
				年度策定						
				【市民参加の状況】						
				・市民・高校生の訪問団への参加 ・市国際交流協会(3友好交流団体で構成)を中心とした市民主体型の交流活動を継続展開している。						
				【先進性】						
担当室・係	総務室 秘書広報係				TEL	45-1607				

(単位:千円)

事業名	小中一貫教育推進事業			新規	予 算 額	財 源 内 訳					
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン重点戦略	定住促進戦略		9,904				9,000	904	
背 景 経 緯	・子どもの発達が早期化(小学校高学年から思春期) ・中1ギャップ、小1プロブレムの増加 ・H27:学校教育法等の一部改正 (H28.4施行) ・H27:宮津市総合教育会議で小中一貫教育推進の決定				(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳					
						繰入	教育基金繰入金			9,000	
目 的 目 標	宮津市教育振興計画における基本方針1『明日の宮津を創る子どもの育成』に位置づける“質の高い学力の充実・向上”・“心身ともに健やかな子どもの育成”を目指す。										
事 業 概 要	宮津市教育大綱に掲げる基本理念及びめざす人間像を実現していくため、子どもたちの学力や不登校などの教育課題に対する取組が求められており、小中一貫教育の実施に向けた体制整備に取り組む。 ■宮津市小中一貫教育研究推進協議会（仮称）の設置 児童生徒の社会を生き抜く力を育成するため、就学前から義務教育期間を通した計画的かつ系統的な教育を行う小中一貫教育を推進し、宮津市小中一貫教育研究推進協議会（仮称）を設置する。 [役割] ・小中一貫教育に係る学校の組織及び運営に関すること ・小中一貫教育に係る教育課程の編成及び運営に関すること等 [組織] 20人以内 ・学識経験者、市立小学校長・中学校長・幼稚園長・保育所（園）長代表ほか ■小中一貫教育専門職員の配置（1名） 小中一貫教育研究推進協議会（仮称）の運営・調整並びに小中一貫教育のビジョン・計画の策定、さらには小中一貫教育を推進するための幼保小中学校間の連携・組織づくりへの指導・助言など、小中一貫教育を円滑かつ効率的に推進するための総合的なコーディネーターとして、専門職員1名を配置する。				期 待 される 効 果	・学力の定着、学習意欲と学習能力の向上 ・問題行動や不登校の減少など生活力の高まり ・児童生徒に力を付ける授業や生徒指導の改善					
					【みやづビジョン2011以外の計画】						
					H27 年度策定	宮津市教育大綱				計 画 期 間	27 ～ 32
					H27 年度策定	宮津市教育振興計画					28 ～ 32
					年度策定						
					年度策定						
					年度策定						
					【市民参加の状況】						
					宮津市小中一貫教育研究推進協議会の委員に幼保小中学校の保護者の参画						
					【先進性】						
					担当室・係	教育委員会事務局総括室 学校教育係				TEL	45-1641

(単位:千円)

事業名	英語指導事業		継続	予 算 額	財 源 内 訳																						
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源																		
ビジョン基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン重点戦略	定住促進戦略	11,600				10,400	1,200																		
背 景 経 緯	・H10～ ：JETプログラムによるAETを中学校に配置 ・H15～17:市独自採用のALTを小学校に配置 ・H18～ ：JETプログラムによるAETを小学校に配置 ・H27～ ：JETプログラムによるCIRを幼稚園、保育所へ派遣			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳																						
				11,223	繰入	人材育成基金繰入金			10,400																		
目 的 目 標	市内の幼稚園・保育所・小中学校等に国際交流員及び英語指導助手を派遣し、英語教育の充実及び国際交流の進展を図る。																										
事業概要	■英語指導事業 11,600千円 地域レベルでの国際交流を深め、国際化を促進するため、「語学指導等を行う外国青年招致事業」(JETプログラム)を実施。 ■ 国際交流員(CIR) 1名【幼稚園・保育所等】 <table><tr><td>派遣施設</td><td>12園(公立幼稚園2、私立幼稚園1、公立保育所3、民間保育所4、認定子ども園1、認可外保育施設1)</td></tr><tr><td>活動内容</td><td>月2回1時間程度、各施設へ巡回派遣し、英語の歌や幼児向けの絵本・教材を使用した英語教育を取り入れ、外国人とのふれあいの中で、コミュニケーション能力を育成する。</td></tr><tr><td>その他職務</td><td>英語の交流広場として一般市民向けに国際交流活動を実施 英語による宮津市PR活動(動画、パンフレット作成等) 海外からの書状の翻訳及び海外への書状の作成・校正 海外からの来訪者の通訳及び案内、地域団体の語学指導</td></tr></table> ■ 英語指導助手(AET) 1名【小学校】 <table><tr><td>派遣施設</td><td>6校(全小学校)</td></tr><tr><td>活動内容</td><td>小1～小4は月1回程度で総合的な学習の時間等に派遣 小5～小6は毎週1回の外国語活動時間等で英語教育を実践</td></tr><tr><td>その他職務</td><td>スピーチコンテストの審査員、英語の交流広場への参加</td></tr></table> ■ 英語指導助手(AET) 1名【中学校】 <table><tr><td>派遣施設</td><td>3校(全中学校)</td></tr><tr><td>活動内容</td><td>中1～中3は週4回程度、外国語時間に巡回派遣を実施</td></tr><tr><td>その他職務</td><td>英語の交流広場への参加</td></tr></table>			派遣施設	12園(公立幼稚園2、私立幼稚園1、公立保育所3、民間保育所4、認定子ども園1、認可外保育施設1)	活動内容	月2回1時間程度、各施設へ巡回派遣し、英語の歌や幼児向けの絵本・教材を使用した英語教育を取り入れ、外国人とのふれあいの中で、コミュニケーション能力を育成する。	その他職務	英語の交流広場として一般市民向けに国際交流活動を実施 英語による宮津市PR活動(動画、パンフレット作成等) 海外からの書状の翻訳及び海外への書状の作成・校正 海外からの来訪者の通訳及び案内、地域団体の語学指導	派遣施設	6校(全小学校)	活動内容	小1～小4は月1回程度で総合的な学習の時間等に派遣 小5～小6は毎週1回の外国語活動時間等で英語教育を実践	その他職務	スピーチコンテストの審査員、英語の交流広場への参加	派遣施設	3校(全中学校)	活動内容	中1～中3は週4回程度、外国語時間に巡回派遣を実施	その他職務	英語の交流広場への参加	期待される効果	・英語コミュニケーション能力、将来にわたる英語への意欲・態度の育成 ・異文化交流、国際理解教育による諸外国との相互理解の増進				
				派遣施設	12園(公立幼稚園2、私立幼稚園1、公立保育所3、民間保育所4、認定子ども園1、認可外保育施設1)																						
				活動内容	月2回1時間程度、各施設へ巡回派遣し、英語の歌や幼児向けの絵本・教材を使用した英語教育を取り入れ、外国人とのふれあいの中で、コミュニケーション能力を育成する。																						
				その他職務	英語の交流広場として一般市民向けに国際交流活動を実施 英語による宮津市PR活動(動画、パンフレット作成等) 海外からの書状の翻訳及び海外への書状の作成・校正 海外からの来訪者の通訳及び案内、地域団体の語学指導																						
				派遣施設	6校(全小学校)																						
				活動内容	小1～小4は月1回程度で総合的な学習の時間等に派遣 小5～小6は毎週1回の外国語活動時間等で英語教育を実践																						
				その他職務	スピーチコンテストの審査員、英語の交流広場への参加																						
				派遣施設	3校(全中学校)																						
				活動内容	中1～中3は週4回程度、外国語時間に巡回派遣を実施																						
				その他職務	英語の交流広場への参加																						
				【みやづビジョン2011以外の計画】																							
				H27 年度策定	宮津市教育大綱			計画期間	27 ～ 32																		
				H27 年度策定	宮津市教育振興計画				28 ～ 32																		
				年度策定																							
				年度策定																							
【市民参加の状況】																											
観光交流センターにて、英語の交流広場を実施																											
【先進性】																											
担当室・係	教育委員会事務局総括室 学校教育係			TEL	45-1641																						

(単位:千円)

事業名	教育支援センター事業			継続	予 算 額	財 源 内 訳				
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン 重点戦略	—		6,050					6,050
背 景 ・ 経 緯	H 8.4～：教育相談室「こころのまど」の実施 H10.4～：適応指導教室「こころのひろば」の実施 H22.4～：教育支援センターとして連携機能の強化				(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
					6,097					
目 的 ・ 目 標	児童生徒及び保護者等の教育に関する相談への対応、不登校及び不登校傾向にある児童生徒への学校復帰や社会的自立に向けた支援を行う。				期 待 される 効 果	・ 不登校等の保護者等の負担軽減 ・ 不登校及び不登校傾向の児童生徒の学校復帰				
事 業 概 要	■教育支援センター事業 6,050千円					【みやづビジョン2011以外の計画】				
	生涯学習施設「学習の家」内に、子育て及び教育に関する相談を行う教育相談室「こころのまど」と、不登校及び不登校傾向にある児童生徒を対象に学校復帰と社会的自立に向けた支援を行う適応指導教室「こころのひろば」を設置し、問題解決に向けた体制を整備。				H27 年度策定	宮津市教育大綱			計 画 期 間	27 ～ 32
					H27 年度策定	宮津市教育振興計画				28 ～ 32
					年度策定					
					年度策定					
					年度策定					
	○教育相談室「こころのまど」				【市民参加の状況】					
	・ 相 談 員：1名体制(指導主事を配置)									
	・ 開 設 日：月～金									
	・ 開設時間：午前9時～午後5時									
・ 内 容：児童生徒及び保護者等の教育(いじめ、学校生活等)に関する悩みや相談への対応並びに学校の教職員に対する専門的事項の助言と指導										
○適応指導教室「こころのひろば」										
・ 相 談 員：3名体制(教員免許等有資格者を配置)				【先進性】						
・ 開 設 日：月～金										
・ 開設時間：午前9時～午後2時30分										
・ 内 容：不登校及び不登校傾向の児童生徒並びに保護者の様々な心の悩み等の相談に応じるほか、不登校・不登校傾向の児童生徒の状況に応じた学校登校への支援を行う。										
担当室・係		教育委員会事務局総括室 学校教育係			TEL	45-1641				

(単位:千円)

事業名	スクールバス運行事業 スクールバス購入事業			継続 新規	予 算 額	財 源 内 訳						
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源		
ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成			ビジョン 重点戦略	—	69,322		7,335	21,000		40,987	
背 景 ・ 経 緯	・遠距離通学する児童の安全な通学手段を確保する。 ・鉄道路線外の地域における唯一の公共交通である路線バスの利便性を向上させ、地域住民の移動手段を確保する。 ・H29.4養老中学校の橋立中学校への統合					(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳					
						47,569	府	市町村運行確保生活路線維持費補助金			7,335	
							市債	過疎対策事業債			21,000	
目 的 ・ 目 標	スクールバスを運行し、遠距離通学する児童生徒の安全確保を図るもの。 また、H29年4月の養老中学校の橋立中学校への統合に伴い、生徒通学に係るスクールバス専用車両を調達する。											
事 業 概 要	■スクールバス運行事業 48,322千円 ○田井線及び島陰・新宮線(一般混乗型) 2路線運行経費 18,329千円 田井、島陰、新宮、矢原、獅子等の各地区から通学する児童・生徒用 ※H28年2月から獅子崎、つつじが丘、問屋町の各地区から宮津小へ通学する児童も利用 ○波見線及び日ヶ谷線(一般混乗型) 2路線運行経費 17,636千円 波見、田原、日ヶ谷等の各地区から通学する児童・生徒用 ○日置世屋線(一般混乗型) 1路線運行経費 8,661千円 日置世屋地区からの生徒用 ○上宮津線2(一般混乗型) 1路線運行経費 521千円 天神、喜多、今福、小田の各地区から通学する児童用 ○栗田小学校スクールバス 運行・管理経費等 3,175千円 由良地区からの栗田小学校・幼稚園に通学する児童・園児用 ■スクールバス購入事業 21,000千円 クラブ活動への参加(朝練習)及び通常の登校時間に対応するため、スクールバス専用車両2台を導入する。また、空き時間に他の宮津市立学校等の校外学習等でも活用する。 ・中型車両(43人乗り)1台 ・マイクロバス(26人乗り)1台					期 待 さ れ る 効 果	・児童・生徒の安全通学 ・高齢者等地域住民の利用					
							【みやづビジョン2011以外の計画】					
						H27 年度策定	宮津市教育大綱				計 画 期 間	27 ~ 32
						H27 年度策定	宮津市教育振興計画					28 ~ 32
						年度策定						
						年度策定						
						年度策定						
						【市民参加の状況】						
						【先進性】						
担当室・係	教育委員会事務局総括室 学校教育係							TEL	45-1641			

(単位:千円)

事業名	宮津小学校校舎改築事業			継続	予 算 額	財 源 内 訳																													
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源																									
ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成			ビジョン 重点戦略	定住促進戦略	733,000 債務負担行為の 設定653,000千円	142,000		591,000		0																								
背 景 ・ 経 緯	・本市の小中学校耐震化率は、90.3%（工事完成後100%） ・H25.8～H26.3：宮津小学校校舎改築等検討委員会の開催 ・H26.3：宮津小学校校舎改築工事基本設計 ・H28.3：宮津小学校校舎改築に係る実施設計					(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳																												
						50,000	国	学校施設環境改善交付金			142,000																								
							市債	過疎対策事業債			591,000																								
目 的 ・ 目 標	築55年が経過する宮津小学校北校舎及び管理棟は、耐震性の課題もあり、「宮津小学校校舎改築等検討委員会」の検討結果を活かすとともに、子ども・子育て支援新制度の下での放課後児童クラブを含めた「宮津のシンボリックな校舎整備」として改築する。																																		
事 業 概 要	■宮津小学校校舎改築工事 〈構 造〉鉄筋コンクリート造 3階建 延床面積 4,323㎡（内放課後児童クラブ 365㎡） 〈内 装〉木質化（府内産木材利用、一部地元産木材利用） 〈内 訳〉普通教室9室、音楽室1室、図書室1室、家庭科室1室、調理実習室1室、学習室2室、ことばの教室6室、多目的ホール、オープンスペース、管理部門11室（校長室、職員室、保健室等）、放課後児童クラブ5室 〈そ の 他〉新校舎と既存南校舎を各階渡り廊下で接続 給食受入施設整備（既存南校舎）については、平成29年度予定 ※現在の管理棟の位置に新校舎を建設 ○H28 733,000千円 校舎改築工事（放課後児童クラブ含む）、北校舎仮移転改修工事、既存管理棟、倉庫等解体撤去費 ○H29 債務負担行為の設定 限度額：653,000円（H28～H29） 校舎改築工事（放課後児童クラブ、給食受入施設含む） 既存校舎解体撤去費 (単位：千円) <table><tr><th rowspan="2">種 別</th><th rowspan="2">事業費</th><th colspan="2"></th><th rowspan="2">備 考</th></tr><tr><th>H28</th><th>H29</th></tr><tr><td>校舎改築工事費</td><td>1,093,000</td><td>626,000</td><td>467,000</td><td rowspan="4">うち国庫：340,000</td></tr><tr><td>北校舎仮移転改修工事</td><td>22,000</td><td>22,000</td><td></td></tr><tr><td>既存校舎等解体撤去費</td><td>271,000</td><td>85,000</td><td>186,000</td></tr><tr><td>合 計</td><td>1,386,000</td><td>733,000</td><td>653,000</td></tr></table>					種 別	事業費			備 考	H28	H29	校舎改築工事費	1,093,000	626,000	467,000	うち国庫：340,000	北校舎仮移転改修工事	22,000	22,000		既存校舎等解体撤去費	271,000	85,000	186,000	合 計	1,386,000	733,000	653,000	期 待 さ れ る 効 果	・子どもたちの安心安全で良好な教育環境の確保 ・子どもを安心して生み育てられる環境の提供				
								種 別	事業費				備 考																						
						H28	H29																												
						校舎改築工事費	1,093,000	626,000	467,000	うち国庫：340,000																									
						北校舎仮移転改修工事	22,000	22,000																											
						既存校舎等解体撤去費	271,000	85,000	186,000																										
						合 計	1,386,000	733,000	653,000																										
						【みやづビジョン2011以外の計画】																													
						H27 年度策定 宮津市教育大綱						計 画 期 間	27 ～ 32																						
						H27 年度策定 宮津市教育振興計画							28 ～ 32																						
						年度策定																													
年度策定																																			
年度策定																																			
【市民参加の状況】																																			
宮津小学校校舎改築等検討委員会で協議（H25.8～H26.3）																																			
【先進性】																																			
担当室・係	教育委員会事務局総括室 施設係			TEL	45-1662																														

(単位:千円)

種 別	事業費			備 考
		H28	H29	
校舎改築工事費	1,093,000	626,000	467,000	うち国庫:340,000
北校舎仮移転改修工事	22,000	22,000		
既存校舎等解体撤去費	271,000	85,000	186,000	
合 計	1,386,000	733,000	653,000	

(単位:千円)

事業名	小中学生の基礎的・基本的な学力の定着及び中学生スポーツ競技力の向上 (小・中学校教育振興事業)			継続	予 算 額	財 源 内 訳				
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成		ビジョン 重点戦略	—	18,920		6,078			12,842
背 景 ・ 経 緯	・学校統合を円滑に進めるため、交流学习を積極的に行う。 ・小中学校学習指導要領に基づき、児童生徒に生きる力をはぐぐむことを目指し、創意工夫を生かした教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させることに努める必要がある。				(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
					12,177	府	市町村未来づくり交付金		6,078	
目 的 ・ 目 標	通常学級に在籍する軽度の発達障害を含む様々な障害のある児童の学習及び生活を支援する特別支援教育支援員を配置する。 養老中学校と橋立中学校の学校統合を円滑に進めるため、交流学习を積極的に行うもの。また、中学校の教科書採択に伴う教師用教科書、指導書の購入を行う。 児童生徒の学習意欲の向上を図るため、漢字能力検定、英語検定に補助するとともに、中学生のスポーツ競技力の向上を図るため、クラブ遠征の充実を図る。									
事 業 概 要	■小学校特別支援教育支援員の配置(継続) 9,838千円 市内6校に9人の特別支援教育支援員を配置する。 ■養老中と橋立中の交流学习等(新規) 81千円 平成29年度の統合がスムーズに行われるよう1年間を通して学習等の交流を行う。 ■中学校教師用教科書、指導書購入(新規) 5,000千円 中学校の教科書採択に伴うもの(4年毎) ■その他 ・中学校特別支援教育支援員の配置 2,318千円 ・日本語漢字検定料補助 273千円 ・英語検定料補助 210千円 ・中学生スポーツ競技力向上(選手輸送経費) 1,200千円				期 待 さ れ る 効 果	・通常学級における特別支援を必要とする児童の学習環境の充実 ・さまざまな交流により統合に係る不安等の解消 ・学習意欲の向上及び必要な知識・技術の習得 ・中学生のスポーツ競技力の向上				
					【みやづビジョン2011以外の計画】					
					H27 年度策定	宮津市教育大綱			計 画 期 間	27 ~ 32
					H27 年度策定	宮津市教育振興計画				28 ~ 32
					年度策定					
					年度策定					
					年度策定					
					【市民参加の状況】					
【先進性】										
担当室・係	教育委員会事務局総括室 学校教育係			TEL	45-1641					

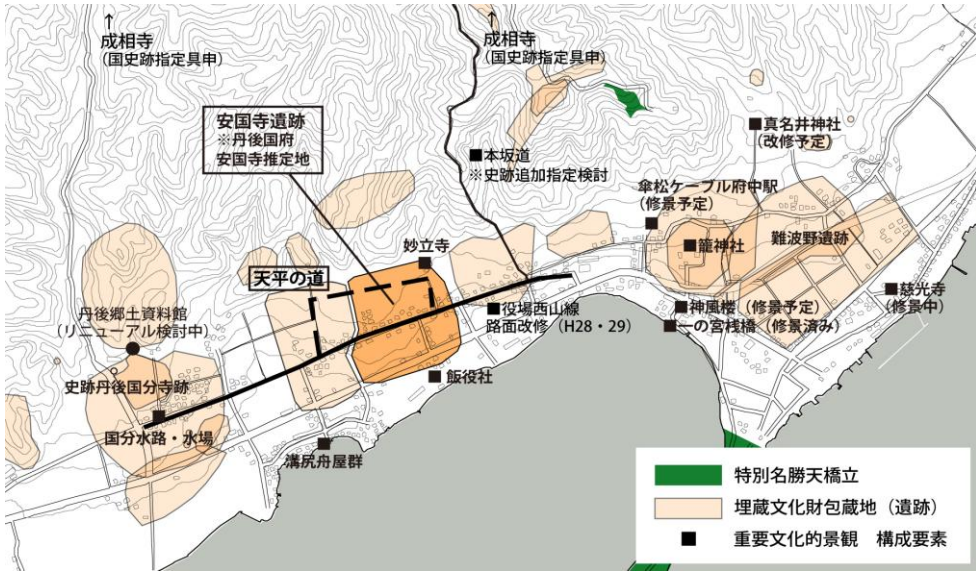
(単位:千円)

事業名	就学児童援助事業・就学生徒援助事業			継続	予 算 額	財 源 内 訳				
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン 重点戦略	—		25, 638	380	12, 629			12, 629
背 景 ・ 経 緯	・ H18. 4～支給割合を90％に低減 ・ H23年度から支給費目の追加と認定基準の見直しを実施 ・ H28年度から支給割合を90％から100％に引上げ				(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
					23,502	国	要保護児童援助費補助金			18
						国	要保護生徒援助費補助金			53
						国	特別支援教育就学奨励費補助金			309
目 的 ・ 目 標	経済的理由によって就学困難と認められる児童生徒及び特別支援教育を受ける児童生徒の保護者等の経済的負担を軽減し、もって義務教育の円滑な実施を図る。				府	市町村未来づくり交付金			12, 629	
					期 待 される 効 果	・ 児童生徒の保護者等の経済的負担の軽減 ・ 児童・生徒の学習環境の保障				
【みやづビジョン2011以外の計画】										
H27 年度策定	宮津市教育大綱			計 画 期 間		27 ～ 32				
H27 年度策定	宮津市教育振興計画					28 ～ 32				
年度策定										
年度策定										
年度策定										
【市民参加の状況】										
【先進性】										
事 業 概 要	■要保護及び準要保護児童援助費（小学校） 17, 011千円 (H27予算14, 818千円) ・ 要保護児童36千円・準要保護児童16, 974千円 ■要保護及び準要保護生徒援助費（中学校） 8, 006千円 (H27予算8, 143千円) ・ 要保護生徒106千円・準要保護生徒7, 900千円 平成28年度から準要保護児童生徒の就学援助費について、支給割合を90％から100％に引き上げ、保護者等の経済的負担を一層軽減し、子育て支援の充実を図る。 ＊主な支給費目：学用品費、新入学学用品費、校外活動費、給食費、修学旅行費、クラブ活動費、PTA会費、生徒会費(中学のみ)など ＊認 定 基 準：生活保護基準額の1. 5倍未満の所得世帯等 ＊認 定 状 況：小学校:認定率29. 4%(240人/816人) 中学校:認定率28. 9%(99人/342人) (平成28年1月末要保護・準用保護認定状況) ■特別支援教育就学奨励費（小学校） 601千円 ■特別支援教育就学奨励費（中学校） 20千円 特別支援学級への就学における保護者の経済的負担を軽減するために、学用品費など必要な援助を行う。 ＊主な支給費目：学用品費、校外活動費、修学旅行費、給食費など ＊認 定 状 況：小学校：認定者数22人 中学校：認定者数2人 (平成28年1月末特別支援教育就学奨励認定状況)				担当室・係	教育委員会事務局総括室 学校教育係		TEL	45-1641	

(単位:千円)

事業名	公民館整備事業		継続	予 算 額	財 源 内 訳				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン 重点戦略	—	23,000			23,000		0
背 景 ・ 経 緯	公民館は、公民館活動のほか、自治会、地元子供会、子育てサークル等、地域の活動拠点としても活用されており、災害時には避難施設として活用する等、使用形態は多岐にわたっている。 施設の衛生環境と利用者利便の向上を図るため、年次的に各地区公民館の水洗化、洋式化を実施している。			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
				4,020	市債	過疎対策事業債		23,000	
目 的 ・ 目 標	公民館の適正な維持管理と利用者利便の向上を図り、地域コミュニティ活動の充実に資する。			期 待 される 効 果	・水洗化による衛生面の向上 ・洋式化による利用者利便の向上 ・施設の適正な維持管理による延命				
事 業 概 要	■栗田地区公民館整備工事 事業費 23,000千円			【みやづビジョン2011以外の計画】					
				年度策定				計 画 期 間	
				年度策定					
				年度策定					
				年度策定					
				年度策定					
	《栗田地区公民館》 所在地：宮津市字上司1345 施設面積：757.85㎡ 建設年度：昭和62年度			【市民参加の状況】					
				【先進性】					
担当室・係		教育委員会事務局総括室 社会教育係		TEL	45-1642				

(単位:千円)

事業名		市内遺跡発掘調査事業		継続		予 算 額		財 源 内 訳							
ビジョン基本施策		教育の充実と人材育成		ビジョン重点戦略		—		2,000		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
										1,000	500			500	
背景・経緯		安国寺遺跡が所在する宮津市府中地区は、丹後国分寺跡（国史跡）や中野遺跡などの重要遺跡が所在するほか、籠神社など古代～中世に創建された社寺等も多く、歴史的に重要な地域である。とりわけ安国寺遺跡は、その地名から「天橋立図」に描かれた「十刹 安国寺」との関連が目され、近年、布目瓦が表採されるなど、古代に遡る寺院などの瓦葺建物の存在が推定される重要遺跡であるが、遺跡の範囲や内容などはほとんどわかっていない。						(参考)前年度予算額		特 定 財 源 の 内 訳					
								3,000		国	国宝重要文化財等保存整備費補助金			1,000	
										府	文化財緊急保存費補助金			500	
目的・目標		重要遺跡の保護と開発行為への適切な対応。また、歴史的資源の価値付けと適切な保全を行うことにより、市民の文化財保護意識の向上を図るとともに、地域の誇りづくりと歴史・文化を活かしたまちづくりの一助とするもの。													
事業概要		■宮津市内遺跡発掘調査委員会の開催（2回） ○市内遺跡発掘調査の方向性及び調査内容等の協議 ■安国寺遺跡発掘調査事業 ○安国寺の重要な遺跡の範囲・内容を確認する発掘調査を行い、開発行為等への適切な対応を図るとともに、保護対策検討のための資料を作成する。 ・事業期間 平成28～31年度（4ヶ年） 						期待される効果		市民の文化財保護意識の向上を図り地域の誇りづくりとまちづくりへの気運の醸成にも寄与。					
								【みやびビジョン2011以外の計画】							
								年度策定						計画期間	
								年度策定							
								年度策定							
								年度策定							
								年度策定							
【市民参加の状況】															
地元の地域会議により、古道「天平の道」の整備が行われている。															
【先進性】															
重要文化的景観の整備事業と一体で地域資源の構築を図る。															
担当室・係		教育委員会事務局総括室			社会教育係		TEL	45-1642							

(単位:千円)

事業名			市民体育館整備事業		継続	予 算 額		財 源 内 訳							
ビジョン基本施策			教育の充実と人材育成		ビジョン重点戦略	6,000		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源			
背景・経緯			近年の施設・設備の更新状況 ・H24：アリーナ床面改修、ライン引き直し ・H25：バスケットボールゴール1対2台更新 ・H26：太陽光発電設備設置（繰越） ・H27：バスケットボールゴール1対2台更新			(参考)前年度予算額		特 定 財 源 の 内 訳							
目的・目標						10,500		市債	過疎対策事業債		6,000				
						期待される効果		利用者の安心安全を確保するとともに、利用者利便の向上							
事業概要			■市民体育館エレベータ改修事業 6,000千円 2階の多目的練習場や観客席への移動に使用しているエレベーターは昭和61年の市民体育館開館以来25年経過し老朽化が進んでおり、障害のある方や高齢者のスポーツ活動の推進、体育館利用者の利便性向上、安全性確保及びバリアフリーの観点から設備改修を行う。  《宮津市民体育館》 所在地：宮津市字浜町3000番地 建設年度：昭和61年度 利用状況 H25：68,982人 H26：70,672人			【みやづビジョン2011以外の計画】									
						H19 年度策定 宮津市スポーツ振興計画								計画期間	20 ～ 29
						年度策定									
						年度策定									
						年度策定									
						年度策定									
						【市民参加の状況】									
【先進性】															
担当室・係			教育委員会事務局総括室 社会教育係					TEL	45-1642						



≪宮津市民体育館≫
 所在地:宮津市字浜町3000番地
 建設年度:昭和61年度
 利用状況
 H25: 68,982人
 H26: 70,672人

(単位:千円)

事業名	絆ネット推進支援事業			継続	予 算 額	財 源 内 訳				
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
ビジョン基本施策	健康増進と福祉の推進	ビジョン重点戦略	定住促進戦略		2,000		2,000			0
背 景 経 緯	H25.2 暮らしのかけ橋(社協) 開始 H26.4 宮津市高齢者等見守りネットワーク 発足 H27 見守りネットワークの強化に係るボランティア育成事業等を実施 H28.3 宮津市地域福祉計画策定(見守りネットワークの拡充等を重点施策に位置づけ)				(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
					2,800	府	地域包括ケア総合交付金			2,000
目 的 目 標	誰もが住み慣れた地域で長く安心して暮らし続けることができるよう、地域見守り体制や住民参加型の在宅福祉サービスの充実を図る。				期 待 される 効 果 ・地域見守り体制の充実 ・住民参加型在宅福祉サービスの充実 【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 ボランティア団体及びふれあいサロン数 H27:72団体→H31:80団体					
事 業 概 要	■絆ネット推進支援事業 2,000千円 平成27年度に宮津市と宮津市社会福祉協議会が協同して策定する「宮津市地域福祉推進計画」の重点施策を推進するため、宮津市社会福祉協議会が実施する見守りネットワーク(絆ネット)の強化・拡充の取組を支援する。 ○宮津市社会福祉協議会が実施する重点施策 ・ボランティア養成講座の開催 ・暮らしのかけ橋協力者養成講座の開催 ・サロンリーダーの育成 宮津市社会福祉協議会の取組とともに、市においても見守りネットワーク参加事業所研修会の開催、SOS(徘徊)ネットワークにおける事前登録制度の実施、みやづ情報メールの登録推進等に取り組み、絆ネットの体制を強化する。					【みやづビジョン2011以外の計画】				
	H27 年度策定 宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略					計 画 期 間	27 ～ 31			
							28 ～ 30			
	H27 年度策定 宮津市地域福祉推進計画						27 ～ 29			
	H26 年度策定 第7次宮津市高齢者保健福祉計画・第6期宮津市介護保険事業計画									
	年度策定									
	【市民参加の状況】									
	事業者、協力者、ボランティアの参加									
	【先進性】									
担当室・係		健康福祉室 地域福祉係		TEL	45-1618					

(単位:千円)

事業名	京都府北部福祉人材養成システム総合実習センター整備費補助事業			継続	予 算 額	財 源 内 訳					
						国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン基本施策	健康増進と福祉の推進			ビジョン重点戦略	定住促進戦略	95, 829	27, 272		68, 500		57
背 景 経 緯	京都府、福知山市、舞鶴市、宮津市では、京都府北部地域において介護・福祉人材の養成と確保を効果的に行い、より質の高いサービスを提供するための仕組み「京都府北部福祉人材養成システム」の構築を進めている。 ・宮津市:総合実習センター H29.4開設予定 ・福知山市:介護・福祉人材養成センター H27.4開設 ・舞鶴市:福祉人材養成校 H27.4開設					(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
						6,781	国	京都府北部福祉人材養成システム総合実習センター整備交付金			27, 272
							市債	過疎対策事業債			68, 500
目 的 目 標	京都府北部地域での介護・福祉人材の養成・確保につなげるとともに、本市における施設介護、保育、障害者支援の各ニーズに対応する。					期 待 される 効 果	・京都府北部地域における福祉人材の養成と確保 ・特別養護老人ホーム入所待機の解消 ・市街地の保育所受入児童数の拡大による働きやすい環境の充実 ・障害者の就労支援、障害児通所支援の拡大 【まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 宮津総合実習センターの立地 1件(H27～H31)				
事 業 概 要	■京都府北部福祉人材養成システム総合実習センターの概要 介護・保育・障害施設といった複数の機能を持った福祉施設と、福祉人材を養成・確保するための実習センター施設を一体的に併せ持つ施設 ・実施主体 社会福祉法人 みねやま福祉会 ・施設機能 *特別養護老人ホーム (60床) *保育所(定員20名) *障害者(児)施設(就労継続支援B型、生活介護、放課後等デイサービス) *実習センター施設(研修室、宿泊室8室) ・整備場所等 宮津市字波路(8,254㎡)、鉄骨造・木造、3階建て ・整備期間 平成28年3月～平成29年3月(予定) ・総事業費 約10億円 ○H28補助 95,829千円(H27.12債務負担行為設定 限度額:95,829千円、期間:H27～H28) 総合実習センター(特養・保育所・障害施設及び実習センター施設)の整備費に対する補助金 (単位:千円)						【みやびビジョン2011以外の計画】				
	H27 年度策定		宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略			計 画 期 間	27 ～ 31				
	H26 年度策定		第7次宮津市高齢者保健福祉計画・第6期宮津市介護保険事業計画				27 ～ 29				
	H26 年度策定		宮津市子ども・子育て支援事業計画				27 ～ 31				
	H26 年度策定		宮津市障害者計画・第4期障害福祉計画				27 ～ 29				
	【市民参加の状況】										
	【先進性】										
	「京都府北部福祉人材養成システム」は、北部地域全体で福祉人材を養成・確保することを目的とした全国に先駆けた取組										
	担当室・係		健康福祉室 地域福祉係・子育て支援係・障害福祉係			TEL	45-1618 45-1621 45-1622				

(単位:千円)

事業名	臨時福祉給付金支給事業 年金生活者等支援臨時福祉給付金支給事業		継続 新規	予 算 額	財 源 内 訳					
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
ビジョン 基本施策	健康増進と福祉の推進	ビジョン 重点戦略	—	105, 200	105, 200				0	
背 景 ・ 経 緯	・平成26年4月消費税率引上げ ・平成27年11月一億総活躍社会の実現対策の発表			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳					
				33,500	国	臨時福祉給付金支給事業費補助金(当初)			18, 000	
目 的 ・ 目 標	低所得者に対し、消費税率引上げ(5→8%)による影響を緩和するため、簡素な給付措置(臨時福祉給付金の支給)を引き続き行う。 また、アベノミクスの成果の均てんの観点から、賃金引上げの恩恵が及びにくい低所得の高齢者及び障害・遺族基礎年金受給者に給付金を支給する。				国	臨時福祉給付金支給事務費補助金(当初)			6, 500	
					国	年金生活者等支援臨時福祉給付金支給事業費補助金(3月)			78, 000	
事 業 概 要	■臨時福祉給付金支給事業 105,200千円(H28当初予算 24,500千円、H27.3補正 80,700千円) ○簡素な給付措置給付事業(継続、H28当初) 10,500千円 ・趣 旨 消費税率引上げによる影響の緩和措置 ・対象者 H28年度市税非課税者(課税者の被扶養者等は除く) 約3, 500人(H27年度支給決定者3, 383人) ・支給額 1人につき3, 000円(H28. 10 ～H29. 3の半年分) ○低所得の障害・遺族基礎年金受給者向けの年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業(新規、H28当初) 7,500千円 ・趣 旨 低年金受給者への支援 ・対象者 H28年度簡素な給付の支給対象者のうち障害・遺族基礎年金の受給者 H27年度低所得の高齢者向け年金生活者等給付金の支給対象者を除く 約250人(国の推計算出式による) ・支給額 1人につき30, 000円 H28年度簡素な給付措置と併せて支給 ○低所得の高齢者向けの年金生活者等支援臨時福祉給付金支給事業(新規、H27.3補正) 78,000千円 ・趣 旨 低年金受給者への支援 ・対象者 H27年度の簡素な給付の支給対象者のうちH28年度に65歳以上となる者 S27. 4. 1以前生まれのH27年度市民税非課税者 約2, 600人(H27年度支給決定者のうちH28年度に65歳以上2, 353人) ・支給額 1人につき30, 000円 ○事務費 9,200千円 ・簡素な給付及び障害・遺族年金受給者向け給付金分 6, 500千円(H28当初) ・高齢者向け給付金分 2, 700千円(H27. 3補正)			期 待 さ れ る 効 果	・低所得者の生活支援 ・低所得者の消費の下支え					
					【みやづビジョン2011以外の計画】					
				年度策定					計 画 期 間	
				年度策定						
				年度策定						
				年度策定						
				年度策定						
				【市民参加の状況】						
				【先進性】						
				担当室・係		健康福祉室 地域福祉係		TEL	45-1618	